

中学校第1学年 道徳科 学習構想案 (例)

日 時 令和〇年〇月〇日 (〇) 第〇校時

場 所 〇〇〇〇教室

指導者 〇〇 〇〇

1 学習構想

主題名	自然への畏敬 (内容項目 D(21)感動, 畏敬の念)	
ねらいと教材	(1)ねらい 大観峰から臨む壮大な自然から考えたことを通して、人間と自然との関わりを多面的・多角的に捉え、人間の力を超えたものに対する恐れや敬いの心情を育てる。 (2)教材名 大観峰に立つ 出典:「熊本の心 中学校 (熊本県教育委員会)」	
評価の視点	評価の視点 1	評価の視点 2
	人間と自然との関わりについて多面的・多角的に考えている。	人間と自然との関わりについて、これまでの自身の経験と重ね合わせながら考えている。
目指す生徒の姿		
人間と自然との関わりを自分の経験から考え、自然への畏敬の念を深めようとする生徒		
主題に迫る学習課題 (本時)		本主題で働かせる見方・考え方
人間にとって、自然とは何だろう。		自然への畏敬について多面的・多角的に捉え、自分との関わりの中で自己の生き方についての考えを深めていくこと。
内容項目相互の関連的・発展的な指導、各教科等や体験活動等との関連的指導		
特別活動 (生徒会活動) 道徳科 総合的な学習の時間		
「環境委員会」 ○環境美化につながることを考え、学校生活や地域に係る諸問題の解決を図る。 「地域のことを調べよう」 ○地域の自然や農業や産業について調べ、郷土のことを知る。 ○自分は地域の発展のために将来どのようなことができ、何を大切にしていきたいのかを考える。 「集団宿泊教室」 ○阿蘇の地域のことを学び、自然の中での体験学習を行う。 「防災学習」 ○避難訓練を行い、身近な災害についての防災の意識を高める。	「火の鳥」(出典:「新しい道徳1 東京書籍」) D(20)自然愛護 「大観峰に立つ」(本時) D(21)感動・畏敬の念 主題名 自然への畏敬 大観峰から見られる自然の美しい風景から考えたことを通して、人間と自然との関わりを多面的・多角的に捉え、人間の力を超えたものに対する恐れや敬いの心情を育てる。 「全国からのエール」 (出典:「平成28年熊本地震関連教材『つなぐ～熊本の明日へ～』 中学校 熊本県教育委員会」) D(22)よりよく生きる喜び	各教科等 理科 (中1) 単元4 大地の変化 1章 火をふく大地 社会 (中2) 第3章 日本の諸地域 1節 九州地方

2 主題設定の理由

学習指導要領における該当箇所（ねらいや指導内容についての教師の捉え方）		
<p>本主題は、中学校の内容項目 D(21)「感動, 畏敬の念」を基にしたものである。</p> <p>人は自然の中で生かされ、自然の美しさに触れ、自然と親しむことにより生活を豊かにしてきた。しかし、産業が発達するとともに、自然と心のつながりを見いだしつつ生きるような自然への対し方は少なくなった。現代では自然に対する考え方が見直されつつあるものの、人間は自然によって生かされているという自覚はまだ十分とは言えない。</p> <p>中学生の時期は、豊かな感受性が育ってくるとともに、自然の中で癒される自己に気付くようになるものの、自然に親しむ機会が少ないという現実がある。しかし、豊かな感受性が育つこの時期にこそ、自然という人間の力を超えたものに対して、美しさや神秘さを感じ取る力を身に付けさせなければならない。「豊かな心」を育成するためにも、阿蘇の雄大な自然を通して人間の力を超えたものを素直に感じる力や、畏敬の念を深めることは極めて重要なことである。</p>		
本主題における系統		
<p>小学校第5学年及び第6学年 内容項目 D(21)（感動, 畏敬の念） 美しいものや気高いものに感動する心や人間の力を超えたものに対する畏敬の念をもつこと。 教材名「自然とともに」 出典:「熊本の心 小学校5・6年（熊本県教育委員会）」 主題名「自然を大切にすること」</p>	<p>中学校 内容項目 D(21)（感動, 畏敬の念） 美しいものや気高いものに感動する心を持ち、人間の力を超えたものに対する畏敬の念を深めること。 教材名「大観峰に立つ」 主題名「自然への畏敬」</p>	<p>中学校 内容項目 D(21)（感動, 畏敬の念） 美しいものや気高いものに感動する心を持ち、人間の力を超えたものに対する畏敬の念を深めること。 教材名「碑に込められた願い」 出典:「熊本の心 中学校（熊本県教育委員会）」 主題名「自然への畏敬」</p>
生徒の実態（生徒の学習状況や実態と教師の願い）		
<p>本学級の生徒数（ 名）</p> <p>■主題に関する意識の状況</p> <p>(1) 人間の力ではどうしようもないものは何だと思いませんか。</p> <p>(2) 自分の身の回りにある自然について、気になることはありますか。</p> <p>■考察</p>		
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; display: inline-block;"> <p>項目のみ記載しています。</p> </div>		
教材の価値（使用する教材の特質や具体的な活用方法）		
<p>世界最大級のカルデラを誇る阿蘇の山々、そして裾野に広がる町や村を一望できる有名な大観峰に立った感動をつづった教材である。阿蘇を訪れた多くの文芸家や歌人が、様々な視点からの感動を随所に折り込みながら、自然の雄大さや荘厳さ、季節ごとの美を表現している。雄大な阿蘇の自然と人間とを対比させることにより、人間の有限性、自然によって生かされている自分を自覚させることができる資料である。</p> <p>また、阿蘇という熊本県を代表するすばらしい自然についての学習を通して、それぞれの地域にある身近な自然の美を思い起こし、実際の体験活動との関連を深めながら指導したい。</p>		

3 指導に当たっての留意点

【導入・終末の工夫】(学習過程の工夫)

- 授業の導入場面では、「自然」から連想する言葉を自由に出させることで、今の生徒の「自然」に対する意識を確認し、教材を通して考え方が広がり多面的・多角的に捉えられるようにする。また、集団宿泊教室等で阿蘇を訪れたことがある場合は、その時の体験活動の様子などを提示したり、阿蘇の様々な自然の写真を掲示したりすることで、生徒が本時の主題に関わる問題意識を持てるようにしたい。その上で教材に出会わせていきたい。
- 授業の終末では、生徒にとって身近な郷土の自然の写真や熊本地震の写真を提示することで、自分と自然との関わりや自分の中にある自然への畏敬の念を確認したり、今後の生活における心の持ち方を考えたりする時間を十分確保したい。

【発問の工夫】(指導方法の工夫)

- 補助発問では、大観峰に立った時の気持ちを考えることで、自然の持つ偉大さや壮大さに目を向けさせたい。その一方で、人間の力を超えたものであることを確認したい。その際に熊本地震後の阿蘇五岳や外輪山の写真などを掲示し、一瞬で形を変える自然の力についても目を向けさせたい。
- 生徒の価値観の多様性に対応し、様々な視点から生徒の考えを引き出すことができるように、教材の最後の言葉での中心発問を設定したい。また、導入時の自然に対する考えと教材と出会った後の終末時の考えを比べることで、自分の中の価値が深まったことを確認できるようにする。その際にイメージマップや KJ 法などの思考ツールを活用し、多面的・多角的に考えをまとめたり深めたりできるようにする。

4 本時の学習

(1) ねらい

大観峰から見られる自然の美しい風景から考えたことを通して、人間と自然との関わりを多面的・多角的に捉え、人間の力を超えたものに対する畏敬の念を深めようとする心情を育てる。

(2) 展開

過程	時間	学習活動 (◇予想される生徒の発言)	指導上の留意事項 (学習活動の目的・意図, 内容, 方法等)
導入	10分	<p>1 本時の学習課題を知る。</p> <p>①生徒の考えから, 学習課題を設定する。 「自然」と聞いて思いつく言葉は何だろう。 ◇山, 海, 川, 空など ◇きれい, 美しい ◇災害</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【学習課題】 人間にとって, 自然とは何だろう。</p> </div> <p>②教材「大観峰に立つ」の概要を把握する。 ◇大観峰は阿蘇にあるんだ。 ◇山に囲まれてきれいなところだな。</p>	<p>○「自然」から連想する言葉を自由に出させることで, 「自然」に対する今の自分の考えを確認し, 本時の学習課題につなげる。</p> <p>○学習課題の提示後に, 阿蘇の様々な写真を掲示することで本時の主題に関わる問題意識を持てるようにしたい。</p> <p>○「大観峰」の場所や様子について簡単に紹介することで, 概要を把握させ, 展開につなげる。</p>
展開	30分	<p>2 DVD「大観望に立つ」を視聴し, 道徳的価値について考える。</p> <p>①大観峰に立った時, どのような気持ちになるだろう。 ◇気持ちがいい。雄大だ。 ◇自然ってすごいな。こんな景色見たことない。 ◇大自然に立つと, 自分がとても小さなものを感じる。 ◇長い年月をかけて, このすばらしい自然が作られている。 ◇人間は, 自然の中に生かされている。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【中心発問】 ②人間にとって, 自然とは何だろう。 ◇心や生活を豊かにしてくれるもの。 ◇命を与えてくれるもの。 ◇人間の命や生活を支えているもの。 ◇災害など, 時には人の命を奪うことがある。 ◇コントロールできない怖さがある。 ◇受け継いで守っていくもの。</p> </div>	<p>○DVD を視聴することで阿蘇の自然を視覚的に感じられるようにする。</p> <p>(個に応じた支援)</p> <p>○教材の短歌や俳句, 挿絵の写真も手掛かりにしながらかえさせる。</p> <p>○大観峰に立った時の気持ちを想起できない生徒には集団宿泊教室等での体験を想起させ, 自然と関わった時の自分の気持ちを思い起こさせる。</p> <p>○大観峰に立った時の気持ちを考えることで, 自然の美しさや雄大さ, 人間の非力さ(小ささ)など, 自然のすばらしさや人間との関わりについて見つめさせる。</p> <p>○熊本地震後の阿蘇五岳や外輪山の写真などを掲示し, 一瞬で形を変える自然の力についても目を向けさせたい。</p> <p>○本時の学習課題について思考ツールを活用し, 多面的・多角的に考えることができるようにする。</p> <p>○導入で出た意見と比較し, 考えの深まりを確認する。</p>
終末	10分	<p>3 自分自身を振り返る。</p> <p>①あなたにとって自然とは何か, 考えよう。 ◇自然は美しいもの, 癒されるものと思っていたけれど, 自然の中で自分は生かされているのだと感じた。 ◇地震や土砂災害など, 人間の命を奪うこともあるが私たちの生活をより豊かにしてくれるものでもある。 ◇自然は自分の生活と深く結びついており, 身近な自然を大切にしていきたい。</p>	<p>○生徒にとって身近な郷土の自然や集団宿泊教室等の写真や熊本地震の写真を提示する。</p> <p>○自分と自然との関わりや, 自分の中にある自然への畏敬について振り返ったり, 今後の生活や生き方について考えたりできるようにする。</p>

【評価の視点1】 人間と自然との関わりについて多面的・多角的に考えている。

(方法: 発言・ワークシート)

【評価の視点2】 人間と自然との関わりについて, これまでの自身の経験と重ね合わせながら考えている。

(方法: 発言・ワークシート)

【板書計画】

<p>あなたにとって、 自然とは何だろう。</p>	<p>○命を与えてくれる ○受け継いでいくもの ○守っていくもの</p>	<p>○時には人の命を奪う ○怖い ○コントロールできない</p>	<p>○生活を豊かにしてくれる ○心が落ち着く ○自然の恵みがあるから生きていける</p>	<p>人間にとって、自然とは何だろう。</p>	<p>大観望に立った時の気持ち ○気持ちがいい ○自然がとてつもない ○自分がとても小さな存在に見える</p>	<p>大観望に立つ 「自然」 ○山、海、川、空 ○美しい、きれい ○災害</p>
自然が受け継がれているような写真（植林等）	自然の脅威が感じられる写真（熊本地震等）	自然の恵みが感じられる写真（水源等）	大観望の写真			

※自然の写真については、地域の特性に応じて選択する。

【ICT活用計画】

例：教師による教材提示の計画，ICTを活用した発表，まとめ等による考えの共有の計画等

導入の場面【端末・電子黒板】

- 阿蘇の写真や大観峰の写真を提示する。
- 「自然」と聞いて思いつく言葉をタブレットの共有ツール等に記入し，互いの考えを共有する。

展開の場面【端末・電子黒板】

- DVD「大観峰に立つ」を視聴し，内容を把握する。
- タブレットでKJ法やマッピング法などの思考ツールを活用する。

本時終末の振り返りの場面【電子黒板】

- 生徒の身近な郷土の自然や熊本地震の写真を提示，自分のこととして考えられるようにする。

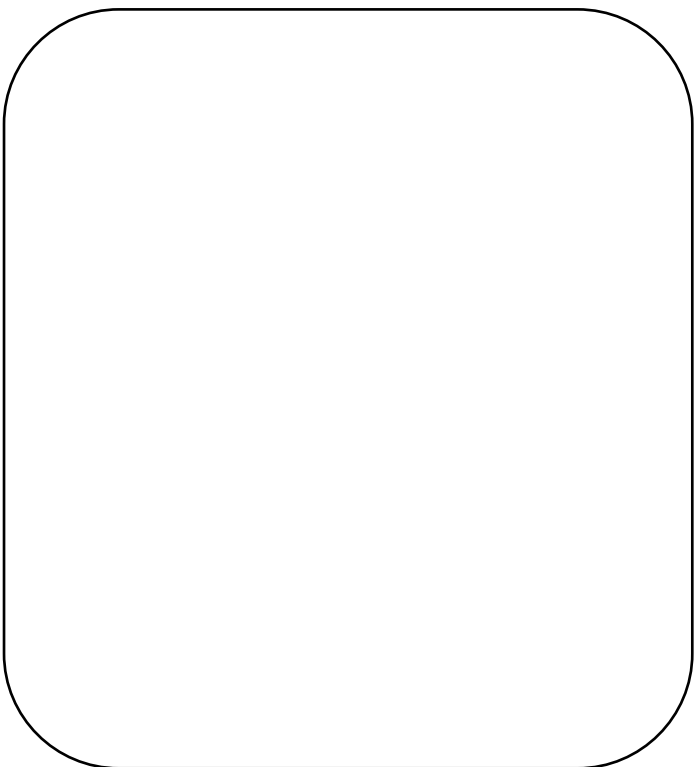
熊本の心

「大観峰に立つ」

年 組 名前 (

)

大観峰に立ったとき、どんな気持ちになるでしょうか。



大観峰からの写真・イラスト等
(または、熊本の心に載ってる写真)

人間にとって「自然」とは何だろう。

